

コンクリート診断士試験 受験体験発表

～合格に向けた戦い～

有限会社 アイ・ディー・エー・システム
吾郷 祥治

診断士試験の受験の動機

- 現在の職務ではコンクリート診断士の取得が必要と判断。
- コンクリート診断士の先輩方の活躍が眩しい。

なによりも名刺にコンクリート診断士と書いてあるとカッコいい!!!

受験に向けて

- 転職後の2015年が最初の受験チャンス！しかし受験せず。
- 『自分は転職したばかりだし、合格率が15%程度しかない試験に合格するはずがない』
→ 言い訳とネガティブ思考

受験に向けて

- 1年間の実務を経て、自分の携わる業務にはコンクリート診断士が必要であると認識。
- この業界に飛び込んだからにはコンクリート診断士に挑戦してみよう！

受験に向けて

- 2016年度の受験に向けて学習方法をネットで検索。

『学習時間は1日最低2時間、休日は8時間』

『半年前から毎日2時間やりました』

『平日は早朝から勉強し、休日は一日かけて勉強』

- そんなに学習せにやならんのか...

受験に向けて

- 4月頃からはほぼ毎日約2時間、多い日は8時間以上は学習。
推定学習時間は約300時間。
- 事前準備は万全だろうという根拠の無い自信。
- これでコンクリート診断士は手中に収めたも同然！

いざ受験！ その結果は？

- 択一問題は28/40正解し、正答率は70%
- 記述問題はA問題もB問題も9割以上は記入し内容についても多少の自信あり。
- この結果は期待できるはず！？

結果は！？

- 2016年のコンクリート診断士試験の結果は？

不合格...

何故に不合格だったのか？

- かなりの時間を学習に費やしたが結果は不合格。
- 試験直後は結果に手応えがあった。
- 何故に不合格だったのか、振り返って試験結果を確認。

不合格の理由？(試験結果編)

- 択一問題の正答数70%(28/40)は最低限のボーダーライン、記述式の出来が合否を左右？
- 全てを書き終えた時点で試験終了時間の5分前、記述問題の解答を読み直す時間がほとんど無かった。
- 自己満足な文章構成で、読み手が読み難い文章では無かっただろうか？
- 焦って書いたため字が汚く読み難かったのでは？

不合格の理由？(試験勉強編)

- 学習量は自身の経験上では最大だったが、量に対して学習の質はどれほどであったのだろうか？
- 集中もせずにダラダラ時間だけを浪費し、やったつもりになっていただけなのでは？
- そもそも人真似の学習方法が自分にあっていたのだろうか？

不合格の理由？(自分自身編)

- 『子供が賑やかだから勉強に集中できない』
- 『仕事が忙しくて集中して勉強できない』
- 『自治会とPTAの役員が重なっているから忙しい』
- 言い訳だらけ！！

問題点

- 2016年の診断士試験についてのアプローチや結果などを自己分析した結果、浮かび上がってきた3つの問題点。

字が汚い問題

集中力不足問題

言い訳多すぎ問題

字が汚い問題

- なにはともあれ字が非常に汚く、試験合格は無理だと言われるレベル。
- メモ書きなど急いで書いた字は自分でもわからない。
- 人前で字を書くと笑われてしまうことがある。

字が汚い問題

- 2016年に合格したS氏と自分の試験結果の比較

	選択問題の正 答数	記述式問題の 文字数の割合	記述式問題の 内容	文字
S氏	26問	90%	インバートの 打替え	並
自分	28問	90%	インバートの 打替え	汚い

- この結果からいくと不合格の理由は字の汚さ？
- しかし字の練習に時間を割く余裕なし

字が汚い問題

- 先輩方から字が汚くても丁寧に書けば読み手には伝わるとのアドバイス。

『ゆっくり丁寧に書くために論文を書く時間を増やす』

- キーワード毎にパーツを準備し、問いに対して組み合わせることで、文章構成で考える時間を削減する。
- 普段からゆっくり丁寧に文字を書く事を習慣付ける。

集中力不足問題

- そもそも集中力というものが皆無である。
- 集中が切れても惰性でダラダラと続け、長時間勉強した俺偉い！と勘違い。
- テレビの音や人の話し声が聞こえると集中出来なくなる。

集中力不足問題

『無理して長時間参考書を開かず、集中できる時に集中してやろう』

- 子供の宿題の時間に合わせて同じ部屋で一緒に学習を進めた。
- 過去問 1 年分と間違えた箇所解説を抜粋してノートにまとめる作業を1日の最低限のノルマとした。
- 結果、学習時間は減ったが集中して効率良く学習することが可能であった。

言い訳多すぎ問題

- すぐに言い訳をして自己防衛をする。
- 先輩方からポジティブ思考の勧め。
- 言い訳は、己の気の持ち方と考え方の改善でいくらでもポジティブな考え方に変えることができる。

言い訳多すぎ問題

『言い訳の原因を無くして己の退路を断つ！』

- 言い訳その1：仕事が忙しかったから

→2016年は4月から鳥取県に長期出張、平日はホテル暮らし、たまの休日は自治会、PTA、子供の剣道。



仕事が忙しいから無理だ。



1人の時間が増えて試験勉強の好機到来と考え方を改める！

言い訳多すぎ問題

『言い訳の原因を無くして己の退路を断つ！』

- 言い訳その2：子供がやかましくて勉強に集中できない。

→子供の宿題の時間に一緒に勉強すれば問題無し、同じ部屋でやれば子供も真面目に取り組むので一石二鳥。

言い訳多すぎ問題

『言い訳の原因を無くして己の退路を断つ！』

- 言い訳その3：自治会とPTAの役員が重なっているから忙しい

→一緒に活動している自治会やPTAの役員の皆さんもそれぞれ仕事があり、忙しいのは自分だけではない。

2度目のコンクリート診断士試験へ

- 2017年は2016年の半分以下の学習時間。
- 学習方法を変更した成果なのか過去問の正答率は90%以上へ。
- 論文に関しても落ち着いて考え方をまとめてから丁寧に書く習慣ができた。
- あとは試験を受けるのみ！

2017年の試験結果

- 択一問題は30/40で正答率は75%。また解答に要した時間は60分程度だった。

(過去問の反復の成果)

- 選択問題が終わった時点で残り時間が150分程度あり、A問題、B問題ともにあらすじを組立、ゆっくり丁寧に9割以上書くことができた。

(内容の事前準備と普段の練習の成果)

- 結果合格することができました。

私流のコンクリート診断士試験の攻略方法

択一問題

- 過去問は、直近の5年分の正答率90%以上を目標として何度も繰り返す。
- ただ繰り返すだけでなく、わからない問題は必ず解説をノートに手書きで写し理解する。それでも理解できなければとりあえず次へ。一か所に留まりすぎない。
- 適、不適を問う問題の場合には、問題文に適を問うなら○を、不適を問うなら×を大きく書いてケアレスミスを防ぐ。

私流のコンクリート診断士試験の攻略方法

記述式問題

- A問題はコンクリート診断技術 1 章の『1.2 診断士の資質・役割』の暗記が必須。
- 時事ネタや新技術に関するキーワードを予め準備しておく。
- アセットマネジメント、技術の継承、少子高齢化、年代別のコンクリートと特徴的な劣化、などの定番となっているキーワードについても準備が必要。

私流のコンクリート診断士試験の攻略方法

記述式問題

- B問題は劣化、変状、調査方法、評価、判定、対策方法毎にキーワードを用意する。
- どのような劣化でも用いる事が多く、汎用性の高い変状と補修方法については詳しく準備をし、理解度を示すアピールポイントとする。
 - 変状『ひびわれ、浮き・剥落、エフロ、錆汁』
 - 補修方法『ひびわれ補修工、断面修復工、表面保護工』
- その他のものも、それぞれ特有のポイントは押さえておき、アピール出来るようにする。

試験当日について

- 2016年は試験当日に家族を試験会場から約30分ほど離れたレジャー施設へ連れて行き、自分はそのまま試験会場入り。
- タイムスケジュール的にはなんの問題も無かったが、なんとなくそわそわした気分。

試験当日について

- 2017年は一人で出掛け、かなり余裕を持って会場へ。
- 会場の駐車場で択一問題の確認。
- 早く会場に入ると顔見知りの方と会話をするのでギリギリまで車の中で悪あがき。

コンクリート診断士を取得して

- コンクリート診断士であるという自覚、日々の業務に対する心構えの大きな変化を実感。
- 自分の活動によりコンクリート診断士という資格が軽んじられてはならないというプレッシャー。
- 最後に自分の失敗談が皆様のお役に立てるかはわかりませんが、受験への自信の後押しとなれば幸いです。

以上